

令和3年度 地域防災拠点モデル訓練 報告資料(朝比奈小学校)

《目次》

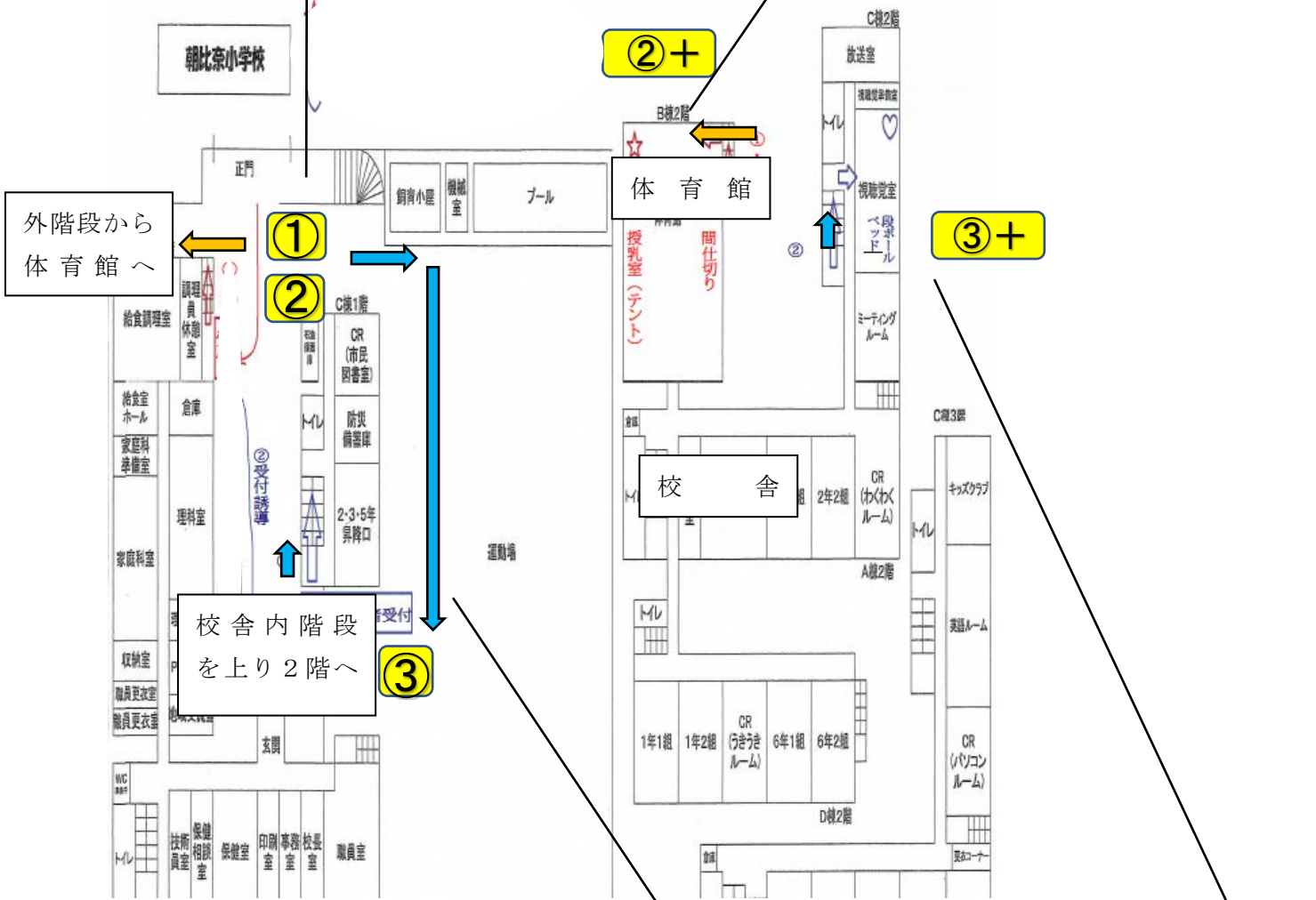
- ① 全体配置図
 - ② 検証結果【区役所との無線連絡】
 - ③ 検証結果【受付スペース、専用スペース】
 - ④ 検証結果【災害時要援護者(受付スペース)】
 - ⑤ 検証結果【災害時要援護者(避難スペース)】
 - ⑥ 検証結果【災害ボランティア】
 - ⑦ 今後の課題等
 - ⑧ まとめ
- ※ 参考資料

1 全体配置図

① 検温チェック ② 一般避難者受付



②+ 避難スペースレイアウト



外階段から
体育館へ

校舎内階段
を上り2階へ

③+ 専用スペース受付
(校舎2階視聴覚室)

③ 専用スペース受付



2 検証結果【区役所との無線連絡】

訓練概要



1 目的

発災時には様々な情報が飛び交い、正確な情報の把握が困難となることが予想されます。このような状況の中で多数の避難者が集まる拠点においては、「区災害対策本部との連絡調整」や「拠点内部及び外部からの情報の収集・取りまとめ」、「周知が必要な情報を避難者に迅速かつ的確に伝達すること」などが求められます。

これらを実践できるように、次の内容について日ごろから訓練しておくことが大切です。

- ① デジタル移動無線機を使用した区災害対策本部との連絡方法
- ② 情報の収集・整理と拠点運営委員会での情報共有方法
- ③ 避難者に対する情報提供方法

今回は①について、開設の連絡を行う形で区役所との通信を行いました。

2 事前確認・準備

ア 避難所開設可否・避難者状況の確認

発災し拠点に着いたら、校舎や体育館、備蓄庫等の安全性や、インフラの状況を確認します。その際は、ヘルメットをかぶり、複数人で確認します。また、避難者の状況を確認しておきます。

イ デジタル移動無線機が設置されている場所（職員室等）へ向かいます。備蓄されている防災電話機とモジュラーケーブルを用いて、体育館等で使用することもできます。

ウ 通信の準備

区本部などの通信先の番号を確認するとともに、機器に備え付けの説明書を確認し、通信の準備を行います。

エ 通信の実施

区本部に対し開設報告及び避難者の状況報告を行います。

（参考資料：拠点から区本部への掛け方）

3 検証結果【受付スペース、専用スペース】 ※1全体配置図参照

【避難者受付の設置】

受付の担当者はマスク、手袋及びフェイスシールドを着用して対応

- ① 検温チェック等の受付・・・正門前
 - ・手指アルコール消毒、マスクの着用
 - ・健康状態の確認
 - ・体温測定（非接触型）
- ② 一般避難者用受付・・・体育館前入り口
 - ・避難者カード及び健康チェックシート（参考資料）の記載を依頼

※①②の距離をとることが難しいので、朝比奈小学校では受付を横並びに設置
- ③ 専用スペース受付・・・校舎1階入り口
 - ・症状の聞き取り、専用スペースへの案内

※専用スペースは校舎2階視聴覚室

① ② 検温チェック、一般避難者用受付

ソーシャルディスタンス



検 温 チ ェ ッ ク



避難者カード受渡し



○誘導役、検温役、受付役2名を1グループとし、繰り返し訓練を行いました。

<実施順> マスク着用の確認→手指アルコール消毒→健康状態の聞き取り→検温

<聞き取り内容～症状についてお知らせいただく目安～(参考資料)>

- ・ 自宅療養中の方
- ・ 濃厚接触者で健康観察中の方
- ・ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ・ 重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- ・ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

○整列時にソーシャルディスタンス（2m）を徹底しました。なお、もし避難者が殺到した場合には一旦グラウンドで待機していただくようご案内します。

○誘導役は避難者が列に並ぶ前に声掛けを実施し、体調不良等の症状がないか確認しました。

○避難者カード及び健康チェックシートはバインダーに挟んでスコアペンとともに配布し、記載台も設けました。



専用スペース

設置場所



専用スペースへ案内



専用スペースの設営



- 専用スペースとして、校舎2階の視聴覚室に間仕切り段ボールベッドを設置しました。ベッドは2m以上離して設置しました。
- 間仕切り段ボールベッドの設置スペースは約5.3㎡（幅2.3m×奥行2.3m）です。間仕切りの高さは1.5mあり、座った状態であれば多くの飛沫を防ぐことができます。
- 朝比奈小学校では専用スペースで使いやすいように、間仕切り段ボールベッドと毛布が視聴覚室に備蓄されています。
- 換気窓はなるべく開放し、可能なら換気扇やサーキュレーターを使用します。
- 避難者カードは専用スペースで記載してもらい、専用スペース外の廊下や間仕切りの外に置いたものを回収するようにします（食事の提供・回収方法も同様）。

《専用スペース運営スタッフの注意点》

- マスク、フェイスシールド、手袋、感染予防着（ガウン）を装着します。手袋はガウンの上から装着するようにし、隙間を作らないよう注意します。
- 専用スペースから出る際には、装着品はふた付きのごみ箱に廃棄し、十分な手指消毒を行います。
- もし発熱などの症状のある人に介助等で接触する場合には、接触直後に十分な手指消毒を行います。

《共用場所の掃除のポイント》

- 不特定多数の人が触れる場所は、時間を決めてアルコールや次亜塩素酸ナトリウムで拭き掃除を行います。頻度としては、体調に不安がない人のスペースではトイレは1日3回を目安に掃除し、ドアノブ、電源スイッチ、テーブル、洗面台、蛇口など、人がよく触る場所はよりこまめに掃除します。専用スペースでは、2時間ごとを目安に掃除します。状況に応じて、出来る範囲で行いましょう。
- 掃除機やほうきを使うと、床のウイルスが空中に舞い、拡散するおそれがあります。フローリングワイパーなどで優しく拭くようにします。

4 検証結果【災害時要援護者（受付スペース）】

訓練見本



対応訓練



○災害時要援護者とは、災害が起きたときに避難が遅れるなどして、大きな被害を受けやすい人のことです。高齢者や障害者の方、乳幼児、傷病者、外国人の方などが該当し、なんらかの手助けを必要としています。日ごろから地域にそのような方がいるかどうかを把握し、災害時の対策を考えておくことが大切です。

○今回の訓練では、金沢区自立支援協議会啓発部会の皆様にご協力いただき、知的障害者が単身で避難してきた想定の手助けにおいて、コミュニケーションボード（[参考資料](#)）を使って対応しました。コミュニケーションボードとは、絵や文字で意思を伝えてもらいやすくするための、コミュニケーションツールです。

＜このような方にご利用ください＞

- ・ 自閉症や知的障害があり、わかりやすいイラストや言葉で伝えると理解しやすい方
- ・ 聴覚障害のある方
- ・ 外国の方
- ・ 高齢者
- ・ 小さな子ども

○コミュニケーションボードは令和2年6月に区内地域防災拠点に5枚ずつ配布しています。

○コミュニケーションボード以外にも、ジェスチャーを使うことで意思疎通しやすくなる可能性があります。

《受付をする際の注意点》

○自閉症や知的障害のある方は、何を聞かれているか分からないためうまく答えられず、聞かれた言葉をそのまま繰り返してしまう場合があります。ただし、コミュニケーションボードの活用等により、こちらからの質問を上手に伝えることができれば、コミュニケーションがとれる可能性があります。

○言葉で伝えることが難しくても、書いてコミュニケーションをとることができる方もいます。どのような方法なら伝わりやすいか、試してみましょう。

5 検証結果【災害時要援護者（避難スペース）】

障 害 の あ る 方 へ の 対 応 の ポ イ ン ト



○障害のある方の中には、「人が多いところが苦手な方」「不安が強い方」「障害特性のためにじっとできなかつたり、静かにできなかつたりする方」など、様々な方がいます。そのような人たちが避難してきた場合でも、理解に努め、見守ることが大切です。可能なら、間仕切り等を使って障害のある方が落ち着けるスペースを用意します。

○障害があり支援が必要な人は黄色のバンダナ、逆に支援ができる人や家族は緑色のバンダナをつける取組が進められています。一目見ただけでは障害があるかどうか分からないこともあるので、受付の際に渡すなどすれば、避難所全体で共有できます。

○訓練時に障害のある方にも参加してもらうことで、互いに知り合う機会となり、事前の備えとなります。どのような配慮が必要となるか、少しずつ知っていくことが大切です。

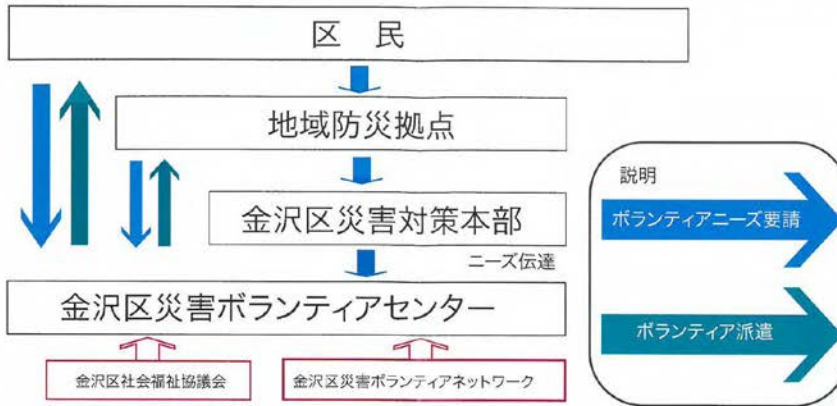
6 検証結果【災害ボランティア】



- ① 金沢区災害ボランティアネットワークについて
- ② 金沢区災害ボランティアセンターについて
- ③ ボランティアの人たちに依頼できることについて
- ④ ボランティア派遣の流れについて

金沢区災害ボランティアネットワークの服部様にご説明いただきました。

災害時に設置する災害ボランティアセンターの体制



災害ボランティアセンターとはなぜ必要なの？

大地震などの災害が起きた場合、多くのボランティアが全国各地から災害救援に駆けつけることが予測されます。ボランティアの力を被災地で発揮してもらうために、災害ボランティアセンターが必要となります。

どこに設置されるの？

区災害ボランティアセンターの設置場所は各区ごとにあらかじめ決められており、金沢区は、いきいきセンター金沢に設置予定です。

何をやるの？

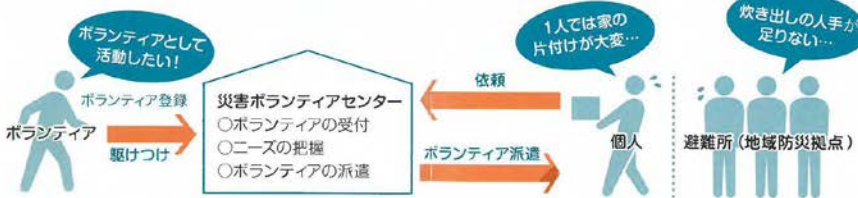
災害ボランティアセンターを立ち上げ、ボランティアセンターで、駆けつけたボランティアと被災者双方へ情報発信とニーズの調整・支援（コーディネート）をします。

災害ボランティアセンターで依頼できること(例)



ボランティア派遣の流れ

【大規模災害時】災害ボランティアセンターが立ち上がります



7 今後の課題等（参加者アンケートより抜粋）

- ・夜間や雨天時など発災時の状況は様々であるため、訓練も様々な状況を想定して行うことが大切である。
- ・災害時要援護者への対応についてイメージはできたが、具体的な支援について今後考えていく必要がある。
- ・コロナ禍であり大規模な訓練は難しいので、ポイントを絞って行う部分、繰り返し行う部分を判断しなくてはならない。
- ・自治会町内会ごとに避難状況を把握し、拠点と連携することが必要だが、訓練が難しい状況である。方法の工夫が課題となる。

8 まとめ

前年度のモデル訓練（並木第四小学校）に引き続き、新型コロナウイルス感染症を踏まえた開設・運営を念頭に、訓練を実施しました。加えて、要援護者支援、災害ボランティアなど、訓練時にはこれまであまり踏み込んでこなかった内容を取り上げました。

避難者も含め、全員で作り上げる避難所だからこそ、様々な観点から運営について考えていただくきっかけになれば幸甚に存じます。

なお、今回の訓練のDVDを制作し各拠点にお配りするとともに、区ホームページにも動画を掲載する予定です。その他にも市ホームページに掲載している各種動画(参考資料)がございますので、ぜひご活用ください。

参考資料

- ・拠点から区本部への掛け方
- ・避難者カード(兼 安否確認票)
- ・健康チェックシート
- ・症状についてお知らせいただく目安
- ・コミュニケーションボード
- ・動画で防災を学ぼう

拠点から区本部への掛け方

区本部との連絡方法は下記の優先順位を原則とします。

優先1

デジタル移動無線から区役所の固定電話へ



地域防災拠点



区役所
固定電話

受話器をあげて
※8 7887706(採用)押す
(※も入れて9ケタ)

優先2

デジタル移動無線から区役所の直通防災電話機へ



地域防災拠点



区役所直通防災電話
3921

受話器をあげて
※ 3921(採用)押す
(※も入れて5ケタ)

優先3

デジタル移動無線から区役所のデジタル移動無線へ



地域防災拠点



区役所
デジタル移動無線
14100020

受話器をあげて
14100020(採用)押す
(8ケタ)

※ 令和3年度からデジタル移動無線機の番号が3ケタから8ケタに変更されました。また、学校の固定電話は「災害時発信優先電話」で災害時もつながりやすいです。

記載例

避難者カード(兼 安否確認票)

No.

学校地域防災拠点

※ みなさまの安否情報の問い合わせについて、ご希望の番号にチェックをつけてください。
問い合わせに・・・

1 下記の情報を公表しないでください。

2 下記の情報を公表しても結構です。(インターネットでも検索できます。)

3 一部の項目だけ回答しても結構です。

(回答してもよい項目にチェックをつけてください。インターネット検索時、チェックした項目のみ表示されます。)

< 住所(区町名まで) 性別 年齢 身体の状態 所在場所 >

※1世帯で1枚記入(下線の引かれた項目は、必ず記入してください。)

確認者

避難した日時	平成 29 年 1 月 2 日 10:00	
退去した日時	年 月 日 :	
避難生活区画	<input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 教室(階 年 組用) <input type="checkbox"/> _____	
住 所	〒234 - 5678 中区 港町 1丁目 1番 1号 *アパート・マンション名	

同居家族全員を記入してください。

フリガナ 氏 名(NAME)	性別	年齢	身体の状態	所在場所	備 考 ※原則非公開ですが、 インターネット検索時 に、備考を表示する場 合は「 <input type="checkbox"/> 表示する」に チェックしてください。	電話(携帯)番号 (インターネット検索 用)
ヨコハマ タロウ 横浜 太郎	男 ・ 女	60	<input checked="" type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他	横浜集会所内 <input checked="" type="checkbox"/> 表示する	090 - 1234 - 5678
ヨコハマ ハナコ 横浜 花子	男 ・ 女	31	<input checked="" type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> その他	横浜会社 駐車場内 <input type="checkbox"/> 表示する	090 - 8765 - 4321
	男 ・ 女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です	<input type="checkbox"/> この避難場所 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 会社 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> その他	 <input type="checkbox"/> 表示する	- -
	男 ・ 女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です			-
	男 ・ 女		<input type="checkbox"/> 無事です <input type="checkbox"/> 被害があります <input type="checkbox"/> 不明です			-

・ 任意の避難場所にいる方は「その他」にチェックします。
・ 居場所は、備考欄に記載します。

※電話番号及び携帯番号は検索用

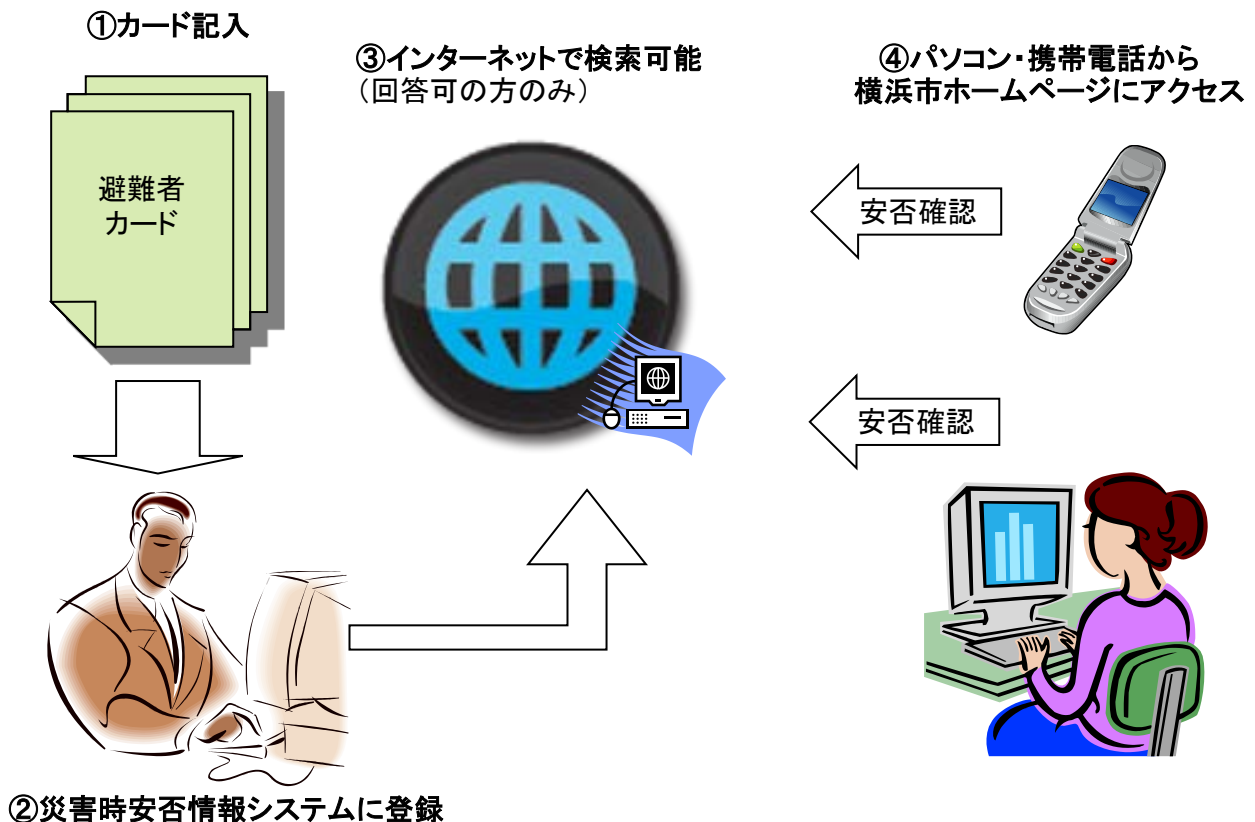
にのみ利用し公表はしません。
※本情報は、災害時のみの利用とし、災害対策本部の廃止後に消去します。

避難者カード(兼 安否確認票)をご記入いただく目的

- この地域防災拠点、あるいは地域防災拠点以外の場所(自宅など)にどなたがいらっしゃるかを把握します。
- 避難者とそのご家族の安否情報を把握します。
- ご記入いただいた内容を災害時安否情報システムに登録し、避難者情報を災害対策本部と共有します。
- インターネットで避難者とそのご家族の安否情報を検索できるようにします。
(カードの記載内容の公表につき、承諾された方のみ)

※ 検索時に、氏名及び電話番号を入力しますので、カードの記載内容の公表につき、承諾された方は電話番号をご記入いただくことをお勧めします。
(同姓同名者がいた場合、個人を特定する情報となります。)

【避難者カード(兼 安否確認票)運用のイメージ】



健康チェックシート

拠点名	氏名	年齢

体温測定	/ (月)	/ (火)	/ (水)	/ (木)	/ (金)	/ (土)	/ (日)
	朝 °C	朝 °C	朝 °C	朝 °C	朝 °C	朝 °C	朝 °C
	昼 °C	昼 °C	昼 °C	昼 °C	昼 °C	昼 °C	昼 °C
	夜 °C	夜 °C	夜 °C	夜 °C	夜 °C	夜 °C	夜 °C
息苦しさ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
★ひとつでも該当すれば「はい」に○ <ul style="list-style-type: none"> 息が荒くなった(呼吸数が多くなった) 急に息苦しくなった 少し動くと息があがる 胸の痛みがある 横になれない、座らないと息ができない 肩で息をしたり、ゼーゼーする 	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
におい・味	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
においや味を感じない	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
せき・たん	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
せきやたんがひどい	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
だるさ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
全身のだるさがある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
吐き気	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
吐き気がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
下痢	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
下痢がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
その他	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
★その他の症状がある <ul style="list-style-type: none"> 食欲がない 鼻水、鼻つまり、のどの痛み 頭痛や関節痛や筋肉痛 一日中気分がすぐれない からだにぶつぶつ(発疹)が出ている 目が赤く、目やにが多い など 	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
チェック欄							

次のいずれかの症状がある場合は、 すぐに運営スタッフにお知らせください

●お知らせいただく目安

- ① 自宅療養中の方
- ② 濃厚接触者で健康観察中の方
- ③ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、
高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ④ 重症化しやすい方（注1）で、発熱や咳などの
比較的軽い風邪の症状がある場合
- ⑤ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪
の症状が続く場合（注2）

（注1）重症化しやすい方とは、高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方、妊娠中の方

（注2）症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。

コミュニケーションボード

Communication Board

커뮤니케이션 보드

语言沟通板

さいがい
災害

Disaster
재해/灾害

ぐ たい てき
「具体的に」「ゆっくり」「やさしく」
はな
話しかけてください



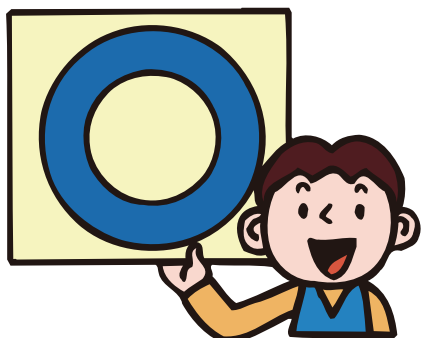
たべる
Eat
먹습니다/吃



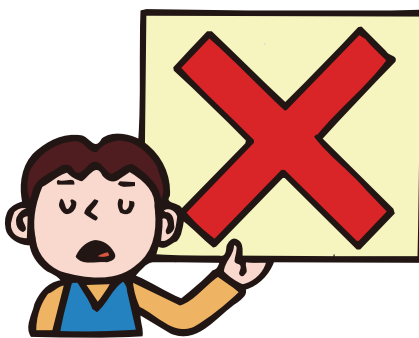
のむ
Drink
마십니다/喝



ねる
Sleep
잡니다/睡



はい
Yes
네/是



いいえ
No
아니오/不是



トイレ
Toilet
화장실/廁所



い どう
移動する
Move
이동합니다/移动(转移)



ま
待つ
Wait
기다립니다/等待



て あ
手当て
Care
치료합니다/处理

きいろ
黄色 のバンダナは「はいりよ ひつ よう配慮が必要」・ みどりいろ 緑色 のバンダナは「し えん支援ができる」というサインです。

コミュニケーションボード

さいがい
災害

Communication Board

커뮤니케이션 보드

语言沟通板

Disaster
재해/災害



身体障害者手帳
しんたいしょうがいしゃてちょう



愛の手帳
あい てちょう



障害者手帳
せいしんしょうがいしゃ ぼ けんふくし てちょう



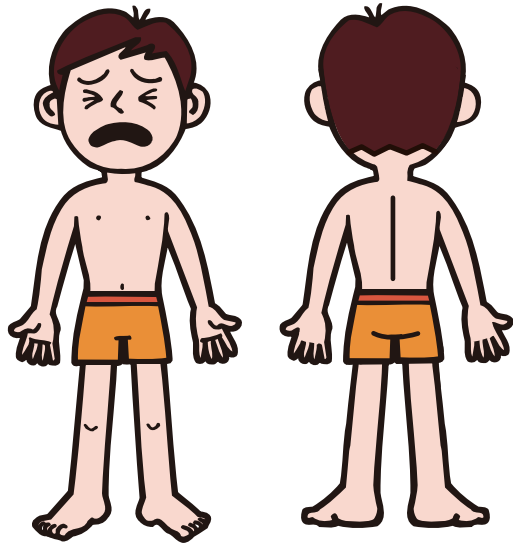
診察券
しんさつけん
診察券
Registration card
진찰권
就診卡 (挂号卡)



健康ノート
けんこう



個人カード
こじん



いたいところはどこ？
Where does it hurt?
어디가 아프세요? / 哪里疼?

あなたの…
What is your…
당신의… / 您的…



な まえ
名 前
Name
성명 / 名字



じゅう しょ
住 所
Address
주소 / 地址



でん わ
電 話
Telephone number
전화 / 电话

か
書いてください
Please write
써 주십시오. / 请写一下



発 行：2018年9月 (初版発行 2008年1月)

発行者：セイフティーネットプロジェクト横浜

構 成：横浜市身体障害者団体連合会 / 横浜市の障害者施策を考える連絡会 / 横浜市心身障害児を守る会連盟 / 横浜障害児を守る連絡協議会 / 横浜市自閉症児・者親の会 / 横浜市精神障害者家族連合会 / 横浜知的障害関連施設協議会 / 横浜市障害者地域活動ホーム連絡会 / 横浜市障害者地域作業所連絡会 / 横浜市グループホーム連絡会 / P & A研究会カナガワ / 横浜市精神障害者地域生活支援連合会 / 横浜市障害者自立生活アシスタント連絡会 / 横浜市社会福祉協議会 / 横浜市

協 力：(公財) 明治安田こころの健康財団

事務局：(社福) 横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター

〒 231-8482 横浜市中区桜木町 1-1 横浜市健康福祉総合センター 9階

Tel 045-681-1211 Fax 045-680-1550

動画で防災を学ぼう！！

災害への備えについて学べる様々な防災動画を横浜市ホームページで公開しています。配布・公開している冊子とあわせて動画もご覧いただくことで、より理解が深まりますので、ぜひご活用ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/wagaya/0720.html>

横浜市 動画で防災を学ぼう

検索

① 防災よこはま

大地震や台風、土砂災害などの災害時の、自助・共助の参考のための動画です。事前の備えや、ご家庭・地域での話し合いなどに、冊子と合わせてご活用ください。



【動画版】



【冊子版】



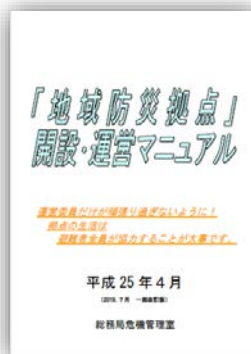
② 「地域防災拠点」開設・運営マニュアル

地域防災拠点の開設・運営手順や注意点等をまとめた動画です。拠点運営委員会での話し合いなどに、冊子と合わせてご活用ください。新型コロナウイルスを踏まえた内容のものもございます。

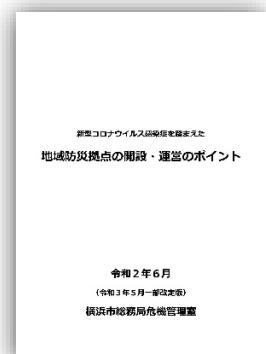
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/bousai-saigai/chikitaisaku/manual/uneimanyuaru.html>



【動画版】



【冊子版】

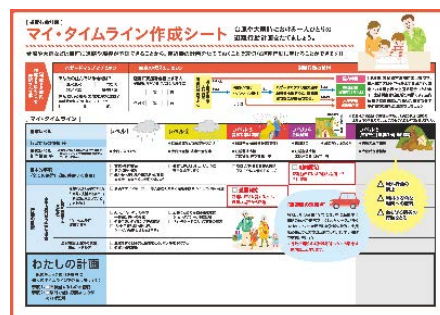


③ 風水害への備え：マイ・タイムラインの作成

大雨・台風時の一人ひとりの避難行動計画である「マイ・タイムライン」の作成方法をまとめた動画です。



【動画版】



【作成シート】